

(様式3)

事業所名 グループホームウエルネス中条

作成日: 平成31年2月14日

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	目標を話し合っただけで確定させていなかったことから、全職員も共有できていなかった。また、ユニット毎で毎月会議を行い、その月の目標を決めていたが、掲示していなかった。	ウエルネス中条の理念を基にグループホームの目標を決め、それを全職員が共有して実践に繋げる事ができる。	グループホームの目標は、1月末のユニット会議で確定させ、スタッフルームに掲示する。ユニット毎の毎月の目標はそれぞれのキッチンに掲示し、毎月の会議で振り返りを行い、新たな課題や目標を話し合うことを今後も継続させる。	12ヶ月
2	24-(9-2)	利用者の生活歴をシステムに入力する職員が限られていた。また、全職員が共有していなかったことから入力ミスに気付かなかった。全職員が利用者の生活歴に注目する意識が希薄であった。	日々の関わりや家族から情報を得た場合、毎月の会議やカンファレンスで共有する。それを記録することで、利用者のその人らしい生活をマネジメントすることができる。	日々の関わりや家族からの情報を記録する。その記録を全職員が読み、会議やカンファレンスで共有して介護計画書に盛り込む。入力に限られた職員であっても全職員が読むことで入力ミスにも気づくことができるようにする。	12ヶ月
3	26-(10)	介護計画作成過程の計画ができていなかった。また、介護計画の説明は、家族の面会日を待って行っていたことで、説明と同意を得ることが遅れていた。	介護計画を停滞なく作成し、実施前には説明し同意を得ることができる。	介護支援専門員、介護計画作成担当者が中心になって介護計画作成過程の計画表を作成し全職員に共有させ実施する。作成済の介護計画については、実施前に説明をして同意を得るようにする。遠方の家族や面会に来れない家族には予め電話等で説明する。その記録を入力し、また、介護計画書の余白にキチンと記録する。	毎回
4					ヶ月
5					ヶ月